

上下水道課

（下水道特別会計）

Q バブル期の利率の高い起債が多いが。

A 不交付団体だったことで、借り換えや繰上げ償還が出来なかったが、今後交付団体になれば検討しなければならない。

Q 供給単価と給水原価が同じ程度でないと、収支が合わないが。

A 経費削減か料金値上げかの選択になるが、現状では値上げは出来ず、経費削減しかない。

産業観光課

Q 老朽化した危険建物は景観上も良くないが、行政指導で撤去できないか。

A いろいろな所にある危険建物をどうするか、町全体で検討すべき問題だ。

Q 有害鳥獣による被害がひどい。対策を考えていただきたい。

A 出沒、目撃件数が増加している。対策協議会が立ち上がったので、より一層の推進を心掛けたい。



老朽化した危険な建物

Q 新米フェアの販売と消費実績は。

A H18年当初は1000俵程度だったのが、今年は400俵で生産者と旅館等が合意のこと。

Q 戦略作物出荷補助と振興作物出荷補助の対象作物は何か。また、転作物の栽培が観光とどう直結していくのか。

A 戦略作物はそば、大豆で、振興作物は野菜全般だが、かぐら南蛮もこれに含まれている。

これらの作物を通して、農業と観光が結びつく6次産業につながっている。

町長への総括質疑

Q 中国誘客キャンペーンを今の状況下でどう考えているのか。

A 最近の状況を目の当たりにし、今年に行けないと判断した。これが続くようだと交流は難しいと感じている。

Q 教育委員会の透明性という話があったが、農業委員会についても議事録その他についてどう考えているか。

A これに限らず各委員会に關して、できるだけ町民に向けて報告したい。

Q 「湯沢ぐらし」が廃刊になった経緯は。

A 経費がかかるということで、情報誌「VITA」の中に掲載することにした。

Q 学校給食は湯沢産コシヒカリが使われているか。いなければ何故か。

A 地元産が使えれば、良いが、安価で安定的に仕入れられる県の学校給食センターから仕入れる。

Q 「上信越高原国立公園」をグリーンシーゾンの観光にもっと生かすべきだが、登山道の現状に対する見解はどうか。

A 管理責任は町にないが、自然との折り合いを考えながら登山道を守るといって、担当課と同じ認識だ。できるだけ訪れる方への利便性を高める必要性はあると思う。

Q 三俣地域振興策要望について、70%（33事業）が未着手ということで振興対策が風化する恐れはないか。

A 国、県が精査したうえで、今出来る事から動いていると思っている。決して風化させないよう頑張りたい。

Q 土樽自然公園について、かつての計画に關して地域との調整はどうするのか。



三俣道の駅

A 今後は宣伝したうえで、足りないもの、危険なものをチェックし、現状のまま提供し、これまでの説明に対する地域との調整は、今後確認する。

Q 駅ナカ開発は、所有者のJRが行なうものだから異論を唱えられないが、町がJRに対して新幹線料金の割引などを求める働きかけは出来ないか。

A 新潟への「Sきっぷ」と同様な割引を東京方面にと、通勤、通学定期券の割引に關しても、JR上層部に話をし、了解が得られるよう努力したい。